

平成25年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	リフォーム(Reform)	授業コード	C012351
担当教員名	近藤 正一		
配当学年	カリキュラムにより異なります。	開講期	前期
必修・選択区分	建築コース (選択) インテリアデザインコース (選択 必修) 環境・地域創生コース (選択)	単位数	2
履修上の注意または履修条件	時期的に就職活動をしながらの受講となると思われますので、リフォームについて学ぶ強い意欲を継続的に持ち続けられることが履修条件です。後半は、出席をとる代わりに、略設計やスケッチを要求することがあるので、各自スケッチブック等を用意してください。また、レポート提出に電子メールを活用することがあるので、大学の施設や携帯電話等で使用できるようにしておくことが望ましいです。		
受講心得	リフォームでは、計画、構造、材料、環境・設備、ときには歴史など幅広い知識と総合的な教養としての実務的発想が必要となります。いわばこれまで学んできた学問の集大成であり、受講者は日常的にリフォームについて考え、自分ならばどうするのか、そのためにはどのような技術を身につけなければならないのかなど、問題意識を持って取り組んでください。		
教科書	適宜、参考図書を紹介します。		
参考文献及び指定図書	授業の内容に関連する優良図書を随時紹介します。		
関連科目	構造力学1～3、構造設計1～2、建築一般構造、製図1～2、設計製図1～3、建築計画1～2		

授業の目的	建物や構造物は、作られた当初は、新しくて機能的にも強度的にもその役割を担うことができます。が、年月が経つと、構造部材が老朽化したり、当初もくろんでいた機能でなく異なる役割を期待されるようになることがあります。この授業では、建物と建造物に関し、維持管理とリニューアルについて、具体例を含んで学ぶものです。 21世紀は構造物をつくる時代から維持・更新の時代に入ったと言われています。ここでは、構造物を劣化させる主な要因とその対策について説明するとともに、防災と構造物、構造物の機能といった視点からメンテナンスとリニューアルに関する理解を深めます。また、構造の補強および空間の再構成により建物を修復することによって、建築に美しさ、住みやすさ、強さなど、新しい価値を与える技術についても理解することを目標とします。
授業の概要	一般的にリフォームは増改築やインテリアの変更を意味することが多いようですが、本講義では広く、構造の補強および空間の再構成により建物を修復することによって、建築に美しさ、住みやすさ、強さなど、新しい価値を与える技術を習得します。科学技術万能主義に由来するスクラップアンドビルドという生産技術のあり方に対して反省を促し、住み手の生活スタイルの変化や社会の経年変化に応じて、よいものは遺し、問題があるところは訂正改修することによって引き継いでいくための修復技術のあり方を学習します。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：リフォームとは リフォームという概念について、詳説します。技術的な基礎知識として、三大構法の特徴を論じ、それぞれについてリフォーム計画時に留意すべきポイントを説明します。講義の最後に授業内容について課題を出します。	配付資料 演習課題・解答例
第2週：リファイン建築 大分県出身の日本を代表する建築家、青木茂氏設計による実践例を中心に紹介し、リフォームにおける特徴的な施工技術、構造計画とデザインとの関連性について論じます。講義の最後に授業内容について課題を出します。	配付資料 演習課題・解答例
第3週：パッシブソーラーシステム リフォームするときのコンセプトの一つとして、自然環境負荷への配慮があげられます。自然の力を利用した空気調和の例としてOMソーラーを紹介し、活用事例について説明します。講義の最後に授業内容について課題を出します。	配付資料 演習課題・解答例
第4週：古民家の再生	

	<p>近年、スローライフなどの社会的風潮により、全国的に古民家をリフォームする活動が活発になってきています。世代を越えて愛され使い続けられてきたものは、それだけでも非常に重要な価値があります。リフォームとはいわば社会的寿命を終え古くなったデザインを再生する行為であることを、古民家再生の事例をもとに説明します。また、大分県における古民家の現状調査結果より、それらの具体的な調査方法、設計方法、施工方法、活用例等について論じます。講義の最後に授業内容について課題を出します。</p>	<p>配付資料 演習課題・解答例</p>
	<p>第5週：中間チェック 第1回～第4回の授業内容について中間チェックを行います。またテストの模範解答を配布し、解説します。</p>	<p>配付資料 演習課題・解答例</p>
	<p>第6週：地震に対するリフォームの3つの考え方 地盤、基礎、上部構造のそれぞれについて、地震時における応力伝達の仕組みを具体的事例を踏まえて解説することにより、地震力とは何か、耐震、制振、免震の3つの考え方についての理解を深めます。講義の最後に授業内容について課題を出します。</p>	<p>配付資料 演習課題・解答例</p>
	<p>第7週：耐震診断と耐震補強 建築基準法改正（新耐震設計基準）以前の建築は、現在と比べて耐震性が低いといわれています。的確な耐震補強計画を検討するために、耐震診断により建物の耐震性能を正しく把握し評価するための指標、具体的な施工方法等について、解説します。講義の最後に授業内容について課題を出します。</p>	<p>配付資料 演習課題・解答例</p>
	<p>第8週：木造建築の壁量計算 木造建築の耐震性能を確保するためには、リフォーム後もじゅうぶんな壁量が確保されている必要があります。建築基準法上、必要とされる壁量について解説し、じっさいに計算できるようにするための演習をします。講義の最後に授業内容について課題を出します。</p>	<p>配付資料 演習課題・解答例</p>
	<p>第9週：福祉住環境の整備 住環境の整備は、高齢者社会において健全な家庭環境を育むうえで、もっとも重要な課題のひとつとなっています。おもなリフォームの実例をいくつか紹介し、典型的な症例への建築的な対処方法について解説します。講義の最後に授業内容について課題を出します。</p>	<p>配付資料 演習課題・解答例</p>
	<p>第10週：中間チェック 第6回～第9回の授業内容について中間チェックを行います。またテストの模範解答を配布し、解説します。</p>	<p>配付資料 演習課題・解答例</p>
	<p>第11週：インテリアデザインの基本 インテリアの仕事の流れについて概説し、インテリアデザインの表現技法や、さまざまな事例について映像を紹介しながらそれぞれの特徴を説明します。また、インテリアエレメントの基本寸法について説明します。講義の最後に授業内容について課題を出します。</p>	<p>配付資料 演習課題・解答例</p>
	<p>第12週：商業施設のリフォーム 商業施設における企画・設計・デザインについて、また、建築計画、照明計画、サイン計画やそれらに関わる留意事項等について、説明します。講義の最後に授業内容について課題を出します。</p>	<p>配付資料 演習課題・解答例</p>
	<p>第13週：リフォームの実践 じつは、ヨーロッパにおける建築家の主な仕事はリフォームといえます。空間デザインの歴史的巨匠の一人であるカルロ・スカルパとその作品群について、映像を用いて理解を深めます。講義の最後に授業内容について課題を出します。</p>	<p>配付資料 演習課題・解答例</p>
	<p>第14週：中間チェック 第11回～第13回の授業内容について中間チェックを行います。またテストの模範解答を行い、解説します。</p>	<p>配付資料 演習課題・解答例</p>
	<p>第15週：自己点検授業 授業で学習した内容の総括を行い、学生自身に学習達成の程度を自己点検させます。学習目標が達成されているかを、個々の学生の成績評価を示して説明します。</p>	<p>配付資料 演習課題・解答例</p>
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	
	(3) アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標

【関心・意欲・態度】

【知識・理解】

- ①メンテナンス／リニューアルの必要性について理解し概説できる。
- ②各事例における防災対策の具体的な手法について理解し概説できる。
- ③材料劣化とメンテナンスとの関係について理解し概説できる。
- ④建築におけるリフォームの意義と具体的な手法について理解し概説できる。

【技能・表現・コミュニケーション】

【思考・判断・創造】

- ⑤魅力的で人々を惹き付けるデザインの事例とそれらの美しさの原点を知り、応用することができる。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。				
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。	80点			
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。				
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		20点		

(「人間力」について)

※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等(提出物)	原則として毎回、講義の最後に授業内容について課題を出します。提出をもって出席に代えますので、課題が課されたら、かならず提出してください。達成水準の目安は以下の通りです。 [Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
発表・その他(無形成果)	授業の中で、適宜質問をします。優れた解答をした者は、記録して加点することがあります。